

資産運用の状況について

1. 資産運用の目的

長期的な視点から許容し得るリスクの範囲内で安全・確実な運用収益の獲得を目指すことで、内部留保(特定資産・奨学基金)を拡大し、健全な財政基盤を確立することを目的としています。

2. 資産運用の方法

現在は、すべて個別債券で運用しています。2017年度からは、金利面で有利な外貨建(米ドル、豪ドル)の長期債に投資することによって収益を確保し、為替リスクの低減を図っています。また、投資による社会貢献活動の一環として、ESG債への投資を行っており、投資リターンを確保しながら持続可能な社会づくりに貢献しています。

※ESG債：一般に環境改善や社会貢献に何らかの効果のある事業を資金使途とする債券をいう。

ESGは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取った言葉です。

3. 資産運用の状況

2023年度は、不動産取得のための資金として借入を行い、預金量が増加しました。

2024年度は、金利動向を踏まえて債券の入替を進めており、運用収益が拡大する見込みです。

運用資産保有額・運用収益・利回り(各年度末日)

(単位：百万円)

年度/種別	預金	円貨建債券	外貨建債券	運用資産合計	運用収益	全体利回り	債券利回り
2019	1,431	9,509	1,807	12,747	223	1.71%	1.96%
2020	1,564	9,706	1,794	13,064	219	1.66%	1.93%
2021	1,468	10,208	1,794	13,470	250	1.84%	2.17%
2022	1,511	10,306	1,686	13,503	272	1.97%	2.32%
2023	2,323	10,327	1,686	14,336	245	1.73%	2.00%

運用資産保有額・資産別割合・利回り(各年度末日)

